

【美里町】 校務 DX 計画

（１）現状

本町では、ペーパーレス化の促進として Google ドライブや Google Classroom を活用した、学校間や教育委員会とのオンライン会議を始め、職員間の情報共有、アンケートを実施しています。

また、校務用端末のシンクライアント化、統合型校務支援及びサービス管理システムの導入など、早期から校務の DX 化や事務の効率化に取り組んできました。

さらにタブレット端末用のプログラミング学習支援ソフトの導入や、電子黒板の配備など、ICT を活用するための環境整備も進めてきました。

（２）課題

デジタル庁が公表している 2024 年 2 月時点における「市区町村ごとの校務 DX の取組状況（半分以上がデジタル化）」における本町の課題として、教職員と保護者間の連絡のデジタル化や FAX・押印の原則廃止が挙げられます。

また、ネットワーク利用に関する教職員の理解度や ICT 活用スキルの向上、校務の効率化などに関して学校間・教職員間で差がみられます。

（３）解決策

教職員と保護者間の連絡のデジタル化については、現状メールによる学校から保護者への通知のみとなっており、互いの連絡を可能とする保護者連絡ツールや汎用クラウドツールを活用することで、保護者の利便性の向上や保護者・教職員ともに負担軽減につながるため、クラウドツールの活用を進めていきます。

FAX・押印の原則廃止については、FAX の原則廃止は進んでいますが、押印の原則廃止は全国と比較して進んでいません。及び押印の見直しを進めるにあたっては、実態を把握したうえで、見直しの検討を行い、関係者へ周知徹底を図ります。

学校間・教職員間での情報リテラシーの差は、ICT 研修会を定期的 to開催し、教育委員会で設置している ICT 支援員からの指導等をとおして全体的な ICT への理解度を高めたり、スキル取得を促進していきます。